**個人総括**

R4A1：澤山　大地

**役割**

　データ作成

**作品制作を通じて**

私たちは今回の卒業研究で就活支援システムを制作した。これまで制作してきたシステムの中で、最も規模の大きいシステムであったため、制作途中で大きな壁にぶつかることや、授業で習っていない新しい分野の知識が必要になるなど、一筋縄ではいかない苦労が多くあった。

その中で私はシステムに登録する生徒や講師の氏名、資格、就活の進捗状況を入力し、データを作成する業務を主に担当した。その中で私が特に力を入れたのは就活生の就活スケジュールや保有資格にリアリティを持たせ、幅広い種類の就活生の利用を想定しながらデータを制作した点である。

優秀な学生や努力が必要な学生の数が偏ったデータであれば、その後制作するグラフ機能や企業おすすめ機能が偏ったデータに影響を受け、現実と乖離した結果を表示することになる。そうならないために、私は学生一人一人に多種多様な資格を取得させ、取得難易度の低い資格を多めに、取得難易度の高い資格を少なめに取得しているような現実に近いデータを作成した。また就活の進捗状況においても、早めにスタートして順調に就活が進んでいる学生もいれば、スタートで出遅れ苦戦を強いられる学生もいるなど、よりリアリティのあるデータを作成する事で参考にしやすいデータにすることを意識した。

反省する点としては自分の知識不足のために作業に遅れが生じてしまった点である。私は一部のCSSのデザインを考える作業も担当していたが、私の知識不足のためになかなか作業が進まず、メンバーに改良する手間を取らせてしまった。

私は今回の失敗を反省し次からは知識を付けるために学習を積極的に行うことや、わからない点をそのままにせず復習することを習慣づけていきたいと考えた。

最後に、ご多忙の中卒業研究の担当をして頂いた工藤先生、たくさんのアドバイスをしてくれたメンバー達には感謝の気持ちでいっぱいである。今回の経験をこれから始まる社会人生活に活かしていきたいと思う。